

# MOTORT 81 MAINTENANCE

**隔月発行**

●偶数月16日発売



巻頭特集:  
“M” Zone  
I Want  
Maintenance  
Space.

**ガ  
レ  
ジ  
ン  
が  
欲  
し  
い  
!!**



特集2: KAWASAKI Z1/Z2 Maintenance

**カワサキ「Z」  
延命治療**

特集3: MAINTENANCE H-D SPORT

**「ハーレー883メンテナンス」**

特集4: HONDA 4st-MINI PARADISE

**2009 DE耐! 最新情報!!**



特集5: How to enjoy PAINTING your machine

**「AC100V乾燥窯」続/実力テスト**

●好評連載:

マキシ工作室「瞬間接着剤」テクニック  
帰ってきたツール100選 他

Garage Data

【氏名】  
▼ 富松 裕也  
【住所】  
▼ 岡山県  
【構造】  
▼ 鉄骨  
サイディング  
【広さ】  
▼ 約75㎡

# 事務所兼作業場付き中古住宅物件を購入!! 工作機械の導入で「エンジンリアリング魂」炸裂。

バイクいじりや車いじりが「大好きで大好きでたまらない!!」といったサンデーメカニックがマイガレージを欲しくなる理由のひとつに自分だけの「スペシャルパーツを作りたい!!」というのがある。ここでは、そんな理想を追い求めたサンデーメカニックの「ファクトリー」を紹介しよう。



前オーナーが建築設計事務所をこの場所で営んでいた関係で、さすがに一切の手抜き工事など無い素晴らしい建物。その旧設計事務所跡が自宅母屋に隣接して立っていて、その一階部分をプチ抜いてガレージに改造。驚きとしか言えないガレージ環境だ。



友人所有のCB750K0砂型クランクケースモデル。メンテナンスついでに遊びに来た友人が、置いたまま帰宅したので預かり中だそう。ガレージが広いからこそ、そんな不測の事態に対応できるのだ。この床のコンクリートの厚さは500mmあるそうだ。

車いじりが大好きでスペシャルパーツメーカーOS 技研に就職した富松さん。様々な技術やノウハウを覚えるにしたがい、ある想いが頭の中を占領していった。「工作機械があれば、好きなものを作ることができても……!?」

本誌読者ならば、そんな気持ちを理解できる方が多いのではないかと思う。そんな富松さんだったが、誘惑!? に勝つことができず、気になっていた工作機械に手を出してしまった。しかし、ガレージが無ければ置き場所も無い。そんな状況を見ていた車仲間が、「ウチに置いてほしい」と進言。「置き場を提供するかわりに部品を作つてね」というのが交換条件だった。富松さんにすれば「なるほどいい考えた」と思えたそうだ。

その後、出物の工作機械情報があると見に行き、気に入ると購入。そんな繰り返ししがららく続き、それらの機械はすべて友人のガレージへ……。

しかし、いつまでもそんな宿借りガレージ生活を続けることはできない。そう考えていた彼は、工作機械を設置することができて、さらに愛車いじりができるガレージを建てられそうな不動産物件、欲を言えば、倉庫付き住宅のような不動産物件を探していた。そして捜索4年目の今春、理想的な不動産物件を遂に見つけることができたのだ。

「そもそも建築設計士の方が自宅の敷地内に設計事務所を建てて仕事場に使っていたそうです。普通の人ならば、敷地内にこんな建物があると邪魔ですよね。だから見に来ても買ってくれないそうです。解体するにはもったいないし費用も大変です。不動産屋さんが言っていましたよ。でも、僕にとっては最高の物件でした。銀行に相談したら借入することができたので決めちゃいました!!」

建築設計士が自分用として建ててい

総敷地220坪。夢のような広さの敷地内に純和風建築の母屋とガレージ兼二階がミーティングスペースとなっている建築設計事務所跡の建物がある。「市街地じゃなくて田舎だからこんな物件とめぐり逢うことができたのだと思いますよ」とは富松さん。



“M”  
Zone  
I WANT MAINTENANCE SPACE.  
PART 11





た物件なので、さすがに手抜きがなく賢  
 沢な造りだそう。床のコンクリートは厚  
 さが500mmもあり、工作機械を設置  
 するには好条件。床が安定しない状態  
 で工作機械を据え付けると、部品の切  
 削加工時に床がビビってしまい、それが  
 工作機械を揺らして加工精度が悪くな  
 ってしまふことが多いのだ。そんな意味  
 でも「頑丈なガレージを手に入れること  
 ができて大満足です」と語る。

一階の作業場スペースも、購入当初は  
 写真のような造りではなく、奥のマシニ  
 ングスペースと中央のガレージスペースは  
 壁で仕切られていた。しかし、それだと  
 使い勝手が悪いので、壁をプチ抜き空間  
 を大きく取った。これらの作業は、すべ  
 て仲間が手伝ってくれたDIYだ。

今は、思い描いていたチューニングパー  
 ツの開発で頭がいっぱいのようなようだ。写真  
 のフェアレディZに搭載されるト迫力の  
 エンジンには、スーパーロックLSDでお馴  
 染み、岡山のOS技研が70年代に開発し  
 たツインカム24バルブエンジンTC24・  
 B1コンプリート仕様だ。30数年の時を  
 経て、今まさに富松さんが技術的改良  
 (個人的に)を加えている真つ最中。動  
 弁系の設計変更によって、よりハイスベッ  
 クな仕様へとモディファイ進行中である。  
 メンテナンス中のエンジンは、友人が所  
 有する同形式エンジンで、オーバホール  
 後に箱スカGTに搭載されるそうだ。

「チューニングパーツメーカーに動いている  
 からとか、OS技研に動いているからで  
 きる訳じゃなくて、大切なことは情熱  
 だと思います。会社の機械を好きに使  
 える訳ありませんからね。だから、自分  
 の機械が欲しかったんです。今、こうし  
 てガレージを得たことで、夢はもっとも  
 っと大きくなってます!!」

自宅敷地内にはまだまだスペースが残  
 されている。「将来的には車用の2柱リ  
 フトとバイク用のメンテナンスリフター  
 が欲しい。」それが富松さんの新たななる  
 野望!? のようだ。

2.4リットルのツインカム4バルブエンジンを搭載するS30Z。そのエンジンは、ニッサンのL型6気筒エンジンブロックにツインカム4バルブヘッドを搭載したTC24-B1。70年代、岡山のOS技研によって開発されたコンプリートエンジンである。現存4〜5基だそう。





スペシャルパーツ製作にアルゴン溶接機は不可欠なので、早い段階で購入した。300アンペア仕様なので、厚いアルミ板でも余裕で溶け込めます。溶接機も移動が楽なように、ガスボンベ一体で可動できる架台を製作している。



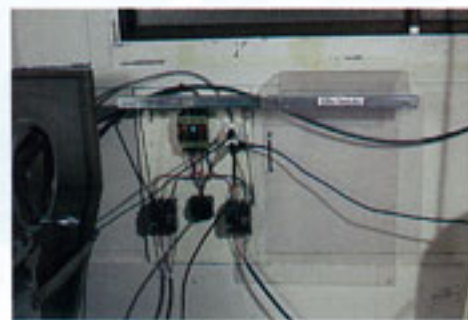
英国のブリッジポート社製ラム式縦型フライス盤。日本製でも数多いラム式縦型フライス盤だが、実はブリッジポート社の歴史は旧く、このラム式が日本の工作機械メーカーの手本となった歴史もあるようだ。英国製なので残念ながらインチ表示。しかし、ミツトヨ製カウンタを後付けし1/1000mm単位で動かしている。



最初は実家の車庫で細々と作業していた富松さん。当時所有していたクルマは小さく、エンジンを降ろすにも人海戦術でなんとかかかっていたそうだ。次に、工作機械を置かしてくれた友人ガレージでお世話になり、今年の4月からは現ガレージにて夜な夜な稼働している。情熱が無ければ「どんなこともできない」ものだが、そのあたりは本誌読者ならご理解いただけると思う。



KTC製のKXロールキャビネットも、京都機械工具製のロールキャビネットとしては最高峰に位置する。ハンドツールもさあ、ここから、ステンチールに關しても数多く揃えている。



上/工作機械関連のツールやケミカル類は、ステンレス鋼材を使って壁の柱に直に溶接した、作りつけの棚に収めている。後々サビなどで汚らしくなってしまうのを避けるためにステンレス素材にしたそうだ。  
下/切削した金属粉や切削油が飛び散ったことで漏電してしまわないように、動力三相電源のブレーカーにはカバーが取り付けられる。ブレーカーの取り付け位置関係によっては、このような配慮が必要になる。



**“M”  
Zone**  
I WANT MAINTENANCE SPACE.

PART 11

週末にはバイク&車仲間とともに「いじり」全開!!  
入手できないものは「作ってしまおう!!」精神だ。

ワークショップエリアだけでも羨ましいスペースだ。広さに関する話になるが富松さんは、首都圏、特に東京に住んでいる方は大変です。よね、うちは田舎だから、中古物件の値段も首都圏とは比べものになりませんから。だからどうやって好きなことが出来るんですよ。



今ガレージにある機械はすべて、絶対に欲しいものはかりだそう。壁は5尺以上、ラム式のフライス盤やヤード滑車機、静かなスロール式コンプレッサー、コンタクトレスのストランドー等々、図面を書くためのドラフターはガレージ二階にある。工作機械収集費用も大変だったそう。

